

茶ぐわゆるんたく



お茶を飲みながら、
ぎのわんの歴史を
のぞいてみませんか？

観衆も一体となって楽しむ沖縄角力

「娯楽」がテーマの第4回は沖縄角力（角力）について紹介いたします。

角力は、琉球王国時代から伝統のある、相撲に似た格闘技です。古くは「角力」と記して「シマ」と言われ、近年は「沖縄角力」と呼ぶところもあります。

角力の起源や歴史は不明ですが、年中



▲写真① 普天満宮境内で行われた奉納相撲の様子
『目で見る 沖縄・宜野湾・具志川・石川・中頭100年』
昭和初期頃



▲写真② 綱引き後に行われた全島相撲大会 1968年 大山小学校

行事と深く結びつき、村祭りなどで奉納されていたことから、王国時代には各地域で競われていたと思われる。現在は沖縄本島、離島の一部地域、奄美大島でも行われています。

試合方法は、互いに腰に巻いた帯を掴んだ状態から始め、背中を地面につけると勝敗が決まります。対戦相手は体重差に関係なく組み合わせ、「諸人角力」という観衆・審判・力士が一緒になって、内法に基づいて判定するという方法で行いました。そのため、反則を繰り返す力士がいると、観衆から引き出されることもあり、観衆たちの熱量も感じられます。

時期は旧暦4月15日の睦み後や、旧暦6月15日の綱引き翌日などの慰労会

として行われました。戦前は宇地泊や伊佐、真志喜、大山、普天間に有名な力士もあり、普天満宮では奉納相撲が執り行われていました（写真①）。

戦後は特に大山に伝統が続き、戦後初の大綱引きが行われた1965（昭和40）年からは「全島相撲大会」が合同で開催されるようになりました（写真②）。当日は1万人余りの観衆が集い、久米島からも力士が参戦して大いに盛り上がりました。その後も屋慶名（現うるま市）・伊江島・本部町・今帰仁村・宮古島からも力士が参戦するようになり、賑やかな行事へと発展しました。現在はその光景を見ることができませんが、県内各地から有力な力士が集う程の角力に、大山地域の角力の伝統を窺い知ることができます。

はくぶつかん情報



市指定文化財50周年企画展 ぎのわんの指定文化財展

宜野湾市の指定文化財（史跡・動植物など）を紹介します！

▼期 間 10月31日（土）

～令和9年1月17日（日）

▼場 所 市立博物館 企画展示室
▼入 場 無料

野外講座受講生募集！

ぶらっと、博物館めぐり

～八重瀬町立具志頭歴史民俗資料館～
貸し切りバスで具志頭歴史民俗資料館（八重瀬町）へ行き、見学します！

▼講 師 金城達

▼日 時 11月8日（日）

12時30分～16時30分（受付12時）

▼集合場所 市立博物館 ロビー

▼参加費 2200円

（観覧料1600円＋保険料60円）

▼定 員 35人

▼申込期間 10月18日（日）9時～

※定員に達し次第 締め切り

室内講座受講生募集！ 沖縄のグスク

沖縄県内の城（グスク）について、特徴や役割などをお話します！

▼講 師 山本 正昭（県立博物館・美術館 主任学芸員）

▼日 時 11月22日（日）

14時～16時（受付13時半）

▼場 所 市立博物館2階 研究室

▼参加費 無料

▼定 員 40人

▼申込期間 11月1日（日）9時～

※定員に達し次第 締め切り

※タイトル等は変更となる場合があります。
詳しくはホームページをご覧ください。

▼問 市立博物館 ☎870-9317

※休館日：火曜日・祝日

※開 館：9時～17時

（最終入館は16時半まで）